

令和2年度～5年度使用 小学校用教科用図書採択理由書

宮崎大学教育学部附属小学校

教科用図書名 【 地図 】
発行者名 【 帝国書院 】
教科書名 【 楽しく学ぶ小学生の地図帳 】

観点1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等
(1) 社会科の目標を達成するために、地図の使い方等を解説したページを新設するなど、地図学習の基礎の定着を図ることができるような配列の工夫が見られる。 (2) 様々な視点から国土を眺めることができる地図や資料を同ページで見ることができ、社会的事象を理解しやすくするための構成の工夫が見られる。
観点2 内容や指導の充実
(1) 豊富なキャラクターによる学習への手がかりの提示やデジタルコンテンツによって関連する資料を見ることができるなど、地図活用の意欲を喚起したり、児童の思考を促したりして、主体的・対話的で深い学びを展開できるような工夫が見られる。 (2) 他教科等でも活用できるように、外国の様子が分かる写真や他教科で取り扱われることの多い人物のイラスト等を地図上の関連する場所に掲載するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 「地図マスターへの道」などの児童の調べる意欲を高めるものが各所に掲載されており、主体的な活用ができるように工夫されている。 (4) 地図帳の使い方で、地図記号が見やすく、見開き1ページで指導内容が完結するように示されている。 (5) 日本の自然災害と防災について、過去の災害事例や防災の工夫について、詳しく掲載されており、児童の学習意欲を高めるものとなっている。 (6) 日本の産業の様子では、「農水産業」と「工業・交通」で分けられており、観点に応じて調べやすい工夫がされている。
観点3 利便性の向上
(1) 地図については、陸の高さや海の深さの表し方をメリハリのある色調で色を付けたり、各地の主な生産物等をイラストで多数掲載したりして、見やすく分かりやすい工夫がなされている。 (2) 資料掲載については、日本の歴史の学習において、年表と世界地図を用いることにより、児童が日本と世界との関わりに気付いたり、理解を深めたりできるような工夫が見られる。 (3) 地球儀の使い方が見やすく区分されており、児童が主体的に活動できる工夫がされている。
観点4 地域の教育の特色や児童の実態等
(1) 上記にあるような工夫から、本校の児童の地図活用能力を育成するために、適していると思われる。掲載されている図表等も児童の興味・関心を高めるのに適当である。